

ヨーロッパはワシントンの従僕となって滅びるのか？

【訳者注】「眠りから目覚めよ、それとも滅びるか」という PCR の警告は、ますます鋭さを加えていく。我々が主としてメディアを通じて感じるのは、「一般大衆が目覚めないようにせよ、少しでも長く眠らせておけ」という、トップ経営者のメッセージである。PCR は彼らを *presstitute* (*press+prostitute*, 売春メディア) と呼び、この言葉はほぼ定着した。これは単に事実を知らせないということだけでなく、もっと深い次元の覚醒を妨げることをも含んでいる。彼らの本当の恐ろしさはそこにある。PCR はそこまでは言わないが、問題の本質はその深い次元、霊的次元にある。これだけ常軌を逸した、貪欲なエゴイズムには、より深い説明がなければならぬ。これを系統立てて説明するのは David Wilcock のような、わずかの人たちである。やがて「どんな馬鹿でも騙されない」(p.3) 時が来るだろう。

Paul Craig Roberts

July 29, 2016

「彼らすべてを支配し…彼らを闇の中に閉じ込めるための、ただ一つの指輪」

——J・R・R・トールキン『ロード・オブ・ザ・リング』

第二次大戦は、ベルリンによってでなく、ワシントンによって、ヨーロッパが征服される結果となった。

この征服は確かだったが、突然起こったものではない。ワシントンのヨーロッパ征服は、マーシャル・プラン（第二次大戦後の米の欧州復興計画）からきている。すなわち、ヨーロッパが、ワシントンの保護を求め、ヨーロッパ軍を NATO の形でワシントンに従属させざるを得なくした、スターリンの赤軍への恐怖から——、世界の準備通貨としての英ポンドを、米ドルに取り換えたことから——、またヨーロッパの個々の国家の主権を、ヨーロッパ連合（EU）に従属させた長い過程から——きたものである。EU は、唯一の責任をもたない政府が支配することで、ヨーロッパのすべてを支配するために、ワシントンが工作し、CIA が先導したものである。

特にイギリスのようなわずかの例外はあるが、EU に加盟するということは、財政的独立を失うことをも意味した。EU の機関である「欧州中央銀行」だけがユーロを創り出すことができるので、ユーロを自国の通貨として受け入れてしまった馬鹿な国々は、予算の赤字を補

てんするために、自分自身のお金を創り出す権限をもはや持たない。

ユーロに加盟した国々は、彼らの赤字を埋めるために、私立の銀行に頼らざるを得ない。この結果として、負債の過大な国々は、自分でカネを創って負債を払うことがもはや不可能となり、負債のために引き当てられるものも期待できない。そのために、ギリシャ、ポルトガル、ラトビア、それにアイルランドは、私立銀行によって略奪されていった。

EUは、これら諸国の疑似政府に対し、彼らの人民の生活水準を抑えたり、特別安い価格で公共の資産を私物化したりすることで、北欧の私立銀行に支払うことを強要した。こうして退職金や、公職雇用や、教育や医療サービスはカットされ、お金は私立銀行に戻ってきた。市立の水道会社が私物化され、その結果、水道料金は高騰する等のことが起こった。

EUのメンバーであることに対して報酬はなく、罰しかないとすれば、なぜ諸政府は、国民の反対意見が表明されているにも関わらず、加入したのだろうか？

その答えは、ワシントンはそれでなければ承知しなかったということだ。EUを創設したヨーロッパ人は、神話的な、よくわからない人たちである。ワシントンは、EUを創るようにワシントンが操れる政治家を利用した。

何年前か、EUは、CIAの先導によってできたものであることを証明する、CIA文書が公表された。<http://benwilliamslibrary.com/blog/?p=5080>

1970年代に、私のPh.D論文の査読で、当時ワシントンの非常に高い役職にあり、国際的な安保問題をコントロールしていた人が、私に対し、外国での隠密のミッションを引き受けてくれないかと言った。私は断った。にもかかわらず、彼は私の質問——「どうやってワシントンは、外国に、ワシントンの望み通りのことをやらせるのですか？」に、応えてくれた。

「カネだよ」と彼は答えた。「我々は彼らのリーダーに、カバンに何杯のカネをやるのだ。彼らは我々のものになる。」

EUがワシントンの利益に奉仕し、ヨーロッパの利益に奉仕していないことは、記録に明らかである。例えば、フランスの民衆と政府は、GMO（遺伝子組み換え）製品に反対している。しかしEUは、GMO導入の“予防的市場許可権”を容認し、おそらくこれは、モンサントが給料を払っている科学者たちの“科学的調査結果”を、根拠にしている。アメリカのバーモント州が、GMO食品にラベルを貼ることを要求する法律を通過させたとき、モンサント社はバーモント州を訴えた。ひとたび、買収されたEUの役人が、アメリカのグローバ

ル企業によって書かれた TTIP 合意にサインすれば、モンサント社はヨーロッパの農業を占領するだろう。

しかしヨーロッパにとっての危険は、有毒の食品を強要されるヨーロッパ人民の健康問題を、超えたところに及ぶ。ワシントンは、EU を利用して、数分でヨーロッパ全体とアメリカ全体を破壊することができる、強力な核保有国のロシアと、ヨーロッパを敵対させようとしている。

こういうことが起こるのは、“カバンに何杯もの” カネで買収されたヨーロッパの“リーダーたち”が、長い目で見たヨーロッパ人の生活よりも、短い目で見たワシントンのカネの方を選ぶからである

あまりにも魯鈍なために、ロシアがウクライナを侵略したとか、ロシアがいつなんどきポーランドやバルト諸国を侵略するか知れないとか、プーチンは“新しいヒトラー”で、ソ連帝国を再建する計画をしているといったことを、信じているヨーロッパの政治家がいるとは思えない。ワシントンのプロパガンダは完全に見え透いている。どんな馬鹿でも騙されないだろう。

にもかかわらず、NATO と同様に、EU もそのプロパガンダと付き合っている。

なぜか？ 答えはワシントンのカネである。EU と NATO は完全に腐敗している。彼らはワシントン的高级娼婦である。

ヨーロッパ人たちが、核第三次大戦を回避し、アメリカがセックスや暴力や強欲の文化でまだ滅ぼしていない、彼らの文化の残った部分を大切に、生き延びるための唯一の方法は、ヨーロッパの各政府がイギリスの前例に倣って、CIA の創った EU を離脱することである。そして NATO から離脱すること——なぜならその目的は、ソ連の崩壊とともに蒸発しており、今は、ワシントンの世界制覇のための道具として使われているにすぎない。

なぜヨーロッパ人たちは、ワシントンの世界制覇のために死のうとするのか？ それはワシントンのヨーロッパ制覇のために死ぬことをも意味する。

なぜヨーロッパ人たちは、ビクトリア・ヌーランドのようなワシントン高官たちが、**Fuck the EU** (EU なんか糞くらえ!) と言っているのに、ワシントンをサポートするのか？

ヨーロッパ人たちはすでに、ワシントンという宗主国から、ロシアとイランに対して行うよ

うに言われた経済制裁によって苦しんでいる。なぜヨーロッパ人たちは、ロシアと戦争を構えて滅びたがっているのか？ 彼らは自殺願望者なのだろうか？ ヨーロッパ人はアメリカナイズされたので、彼らの手に保護されている、芸術や建築、文学や音楽の、価値がわからなくなったのだろうか？

それに対する答えは、ヨーロッパ人がどう考えようと全く関係がないということだ。なぜならワシントンは、彼らの願望には全く関係のない政府をつくったからで、EU 政府は、ワシントンのカネに対してのみ責任を果たせばよい。勅令を発することのできる少数者は、ワシントンからカネをもらう者たちである。ヨーロッパの全人民はワシントンの奴隷である。

したがって、もしヨーロッパ人が現在そうであるような、騙されやすい、無関心な、愚かな人々であり続けるならば、彼らは、我々残りの者たちと共に滅びるよりほかはない。

しかし反対に、もしヨーロッパ人が目覚めて、ワシントンが彼らに押し付けている“マトリックス”から自己を解放し、彼らをコントロールしているワシントンの手先に反逆することができるならば、ヨーロッパ人は、自分の命だけでなく、我々残りの者の命をも救うことができるだろう。

(ポール・クレイグ・ロバーツ博士は、元経済政策担当米財務次官、ウォールストリート・ジャーナルの共同編集長。彼は *Business Week*、*Scripps Howard News Service* および *Creators Syndicate* のコラムニストで、多くの大学からの講演依頼がある。彼のインターネット・コラムは世界的な支持者を引き付けている。ロバーツの最新著としては、*The Failure of Laissez Faire Capitalism and Economic Dissolution of the West*、*How America Was Lost* および *The Neoconservative Threat to World Order* がある。)